神社での奉納神楽

日本遺産 神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～

認定ストーリーの概要

島根県西部、石見地域一円に根付く神楽は、地域の伝統芸能でありながらも、時代の変化を受容し発展を続けてきた。
その厳かさと華やかさは、人の心を惹きつけて離さない。
神へささげる神楽を大切にしながら、現在は地域のイベントなどでも年間を通じて盛んに舞われ、週末になればどこからか神楽囃子が聞こえてくる。
老若男女、観る者を魅了する石見地域の神楽。
それは古来より地域とともに歩み発展してきた、石見人が世界に誇る宝なのだ。

日本遺産とは…

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備、活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

詳しくはこちら
日本遺産ポータルサイト 検索

神楽大会

島根県西部・石見地域では、石見神楽団体が一堂に介して「神楽大会」が開催され、趣向を凝らした舞や演出を一日中楽しむことができます。
公演の日時は随時更新されていますので、
詳しい日程や時間はインターネットで検索!

神楽大会スケジュールはこちら
石見神楽　日程 検索

石見神楽「大蛇」

主な構成文化財

1 大元神楽（おおもと かぐら）

数年に一度の式年祭の日に執り行われる。一連の神事の中で託宣による神がかりが行われるところが一番の特徴。

[指定等の状況]国無形民俗
[文化財の所在地]江津市、川本町、美郷町、邑南町(邑智郡大元神楽伝承保存会)

2 石見神楽（いわみ かぐら）

石見地域で神職により伝えられていた神楽が明治以降に民衆に受け継がれた民子神楽。石見地域一円に伝わりその団体数は130を超える。

[指定等の状況]未指定（無形民俗）
[文化財の所在地]浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町

3 石見神楽面（いわみ かぐらめん）(長浜面・市木面（ながはま・いちき）)

明治期には、氏子へ神楽が受け継がれ多くの団体が発生したため、量産可能な和紙で作られた面が普及した。邑南町の市木には、明治から昭和にかけて使用された面の型が現存している。

[指定等の状況]未指定（工芸品）
[文化財の所在地]浜田市、大田市、江津市、邑南町

4 石州半紙（せきしゅうばんし）

地元で栽培された良質の楮を使用し、微細かつ強靭で光沢のある和紙。かつては、大阪の商人が石州半紙を帳簿に用い、火災のときは保存のため、井戸に投げ込んだと伝えられる。この水に強い特性が、石見神楽面における軽さと汗に強い強靭さを両立させていると言え、明治期には、木彫面に代わって和紙面が普及することにつながった要因と言える。

[指定等の状況]国無形・ユネスコ無形文化遺産
[文化財の所在地]浜田市

5 石州和紙（せきしゅうわし）

石州半紙に代表される石州和紙の技術・技法は、石州半紙を漉く浜田市三隅町を中心とした職人の手で一貫されて保持されている。石見神楽面、石見神楽衣裳、石見神楽蛇胴、幣などの採り物などにも使用され、石見神楽では、欠かすことのできない重要な素材と言える。

[指定等の状況]未指定（工芸品）
[文化財の所在地]浜田市

6 勝地半紙（かつじばんし）

楮が原料の強靭な紙質の和紙。大元神楽において幣等の道具に使用されている。

[指定等の状況]市無形民俗
[文化財の所在地]江津市

7 石見神楽蛇胴（いわみ かぐら じゃどう）

提灯から着想を得て浜田市の植田菊市氏により開発された。材料は竹と石州和紙のみで長さは約17mにも及ぶが驚くほど軽量。この蛇胴の発明をきっかけに「大蛇」が石見神楽における代表演目となる。

[指定等の状況]未指定（工芸品）
[文化財の所在地]浜田市、江津市

8 石見神楽衣裳（いわみ かぐら いしょう）(刺繍衣裳（ししゅう）)

金糸・銀糸がふんだんに用いられた豪華絢爛な神楽衣裳。特に「生き物」といわれる立体的な刺繍は、衣裳の命とも言われている。

[指定等の状況]未指定（工芸品）
[文化財の所在地]浜田市、江津市

日本遺産の関連施設

見…見学 体…体験 買…買い物

1 大元神楽伝承館 見

●開館時間
9:00～16:00
[定休日]土曜日・日曜日
●入館料
無料

[住所]島根県江津市桜江町市山481 市山コミュニティ交流センター
[駐車場]10台
[お問い合わせ]TEL.0855-92-1508(市山コミュニティ交流センター)

2 神楽ショップくわの木

●開館時間 見 買
8:00～18:00
[定休日]水曜日・年末年始
●入館料
無料

[住所]島根県浜田市金城町下来原1541-8
[駐車場]10台
[お問い合わせ]TEL.0855-42-0039

3 石州和紙会館 見 体 買

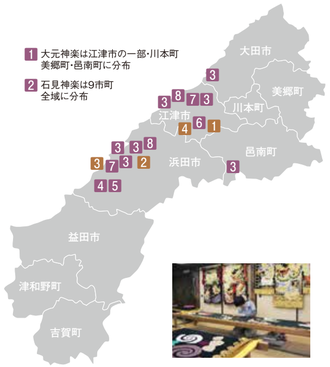
●開館時間 9:00～17:00
[定休日]
月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)
年末年始(12月28日～1月4日)
●入館料 無料

[住所]島根県浜田市三隅町古市場589
[駐車場]50台
[お問い合わせ]TEL・FAX.0855-32-4170

4 石州勝地半紙 見 体 買

●開館時間
10:00～12:00, 13:30～15:30
[定休日]水曜日・木曜日
(GW・夏休みは毎日営業)
●入館料 無料

[住所]島根県江津市桜江町長谷2696 風の国 風の工房
[駐車場]10台
[お問い合わせ]TEL.0855-92-8118(佐々木)



1 大元神楽は江津市の一部・川本町
美郷町・邑南町に分布
2 石見神楽は9市町
全域に分布

発行・総合お問い合わせ先
石見観光振興協議会　TEL.0855-29-5647
島根県浜田市片庭町254(島根県西部県民センター商工観光部内)
石見神楽情報を日々発信中!!　石見神楽　なつかしの国石見 検索

文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)

令和三年度 公演情報

日本遺産

神々や鬼たちが躍動する神話の世界

～石見地域で伝承される神楽～

神楽を伝え、舞とともに生きる石見人（いわみ）

島根県西部に位置する石見（いわみ）地域。
人口19万人弱のこの地域に、130を超える
神楽団体（社中、保存会等）が存在します。
石見地域で、伝承される神楽は
時代や社会の変化に応じながら
石見の各地で発展してきました。
なぜ、この地域で神楽が根付き、発展してきたのか。
なぜ、人はこの地域の神楽に魅せられるのか。
ここ石見地域に伝わる神楽の魅力の
一端を御紹介します。

大元神楽と石見地域の神楽の変遷

重要無形民俗文化財「大元神楽」

古来より、石見地域一円に根付く大元信仰に基づき、数年に一度それぞれの村で周辺地域の神職が集まって執り行う「大元神楽」が行われており、これが現在の石見神楽のルーツとなっています。
大元神楽は、近世以前から石見地域一円に伝承されており、恵みを与えてくださる神（大元神）への感謝を表す大元信仰から生まれたものといわれています。数年に一度の式年祭の日に行われ、斎場に大元神をお迎えし、神事、儀式舞、神楽舞が夜を徹して行われます。中でも神がかりによる神のお告げを聞く託宣の神事があり、これが大元神楽の特徴でもあります。
明治期には、神職による神楽や託宣の神事を禁止する政府の命令が出され、大半の地域では託宣の神事は姿を消すことになりましたが、山間部の一部の地域では今でも神職による神事と神がかりが伝承されており、1979年に「大元神楽」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。
現在では、かつての神職による舞が比較的忠実に受け継がれた、ゆるやかで優雅な舞を六調子神楽、舞や奏楽の調子が速くなったものが八調子神楽と呼ばれています。
また、舞われている演目は30番を超え、素面に採り物で行われる「儀式舞」と、古代から中世にかけての神話・説話を基に神や鬼が躍動する「能舞（神楽能）」と呼ばれるものに大きく分けられます。

神楽囃子の聞こえる里「石見」

傘鉾が飾られた地域のお祭り（邑南町）

秋になると、集落のお宮の周りには大きな幟が立ち、祭りの訪れを知らせます。祭りの日には大きくて美しい傘鉾（花笠）を飾る地区、参道沿いの家が大きな提灯を下げる地区など様々ですが、皆一年に一度の大切な日を心待ちにしています。
夜になると、小さい子どもからお年寄りまで、銘々に毛布を抱えたり、弁当や酒を抱えたりしながら、お宮や公民館などへ続々と集まってきます。その表情は、これから始まる神楽への期待に満ちています。いよいよ時間が来ると、透き通るような笛の音が夜空に鳴り響き、太鼓の音が大地を震わせます。
粛々と舞う儀式舞に続いて、装飾豊かで豪華絢爛な神楽衣裳に身を包んだ神や鬼が舞殿に立ち現れる神楽舞が繰り広げられていき、子どもも大人も食い入るように見つめ、大きな拍手を送ります。夜気が深々と冷え込む中、人々の熱気とともに神楽の夜は更けていくのです。神の御前に集い、一年の豊作と平穏に感謝し、次の一年も平和に暮らせるよう祈りながら、一緒に祭りの日、神楽の宵を楽しむこと、それが人々にとってなによりの喜びなのです。
現在では、神社祭礼での奉納や地域のイベントでの上演にとどまらず、ホールの舞台で舞う機会が増え、照明効果や音響効果を取り入れた公演や、現代アーティストとコラボするなど、新たな「魅せる」挑戦をしています。
その一方で、昔ながらの舞を楽しもうという伝統を守るための取組も行われています。石見地域の神楽の持つ多様性、多面性、時代に寄り添う柔軟性も、人の心を惹きつける魅力です。

地域を飛び出す石見神楽

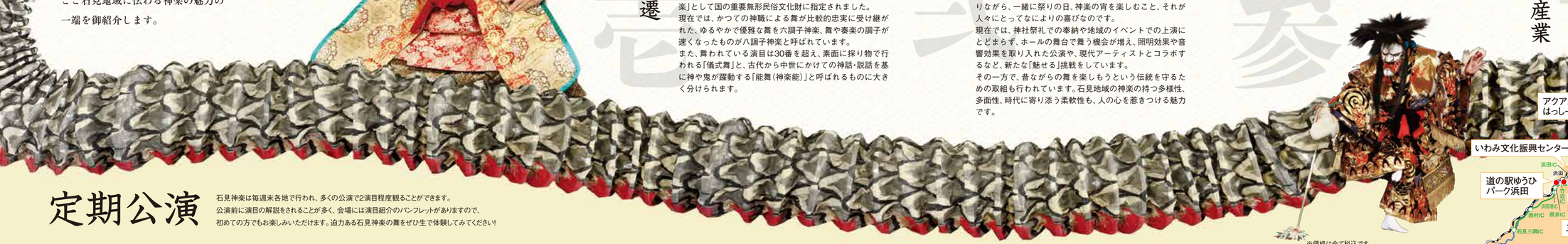
1970年大阪万博での「大蛇」上演

江戸時代後期から明治期にかけて、広島県境や山口県境を中心に周辺地域にも影響を与えた石見神楽。全国にその名が知れ渡ったのは、1970年に大阪で行なわれた日本万国博覧会のメインステージにおける石見神楽の演目「大蛇」の上演がきっかけでした。「大蛇」は八岐大蛇神話を元にした演目で、それまで1頭から2頭の「大蛇」が出てくるのが一般的でしたが、大きなステージで魅せるため、はじめて8頭以上の「大蛇」に挑戦し、その迫力で観客を圧倒しました。これを機に多くの「大蛇」が出てくるようになり、県内外に知られるようになったほか、個々の神楽団体での活動だけではなく、神楽団体が連携して神楽公演を行う体制づくりができました。
現在では、そういった協力体制も定着し、国や他県から要望を受けて、個々の神楽団体や各市町の神楽連絡協議会単位での県外公演や海外公演も多く行われています。

神楽とともに発展してきた地場産業

石見神楽面工房

石見神楽面、金糸・銀糸をふんだんに用いた豪華絢爛な石見神楽衣裳、演目「大蛇」に用いる石見神楽蛇胴。これらは、いずれも和紙が使われており、石見の地「浜田」で生まれ、発展してきました。石見神楽面は、粘土型に和紙を何層も貼り重ね、柿渋を塗ることで補強され、軽さと汗に強い耐久性を実現しています。また、舞の中で、一際存在感を放つ龍や虎などの動物や植物などの神楽衣裳の模様も和紙を土台に刺繍されます。更に、約17mもある「大蛇」の蛇胴の躍動感あるリアルな動きを可能にしているのも、石州和紙の特性によるところが大きいといえます。
石見神楽を語るうえで欠かすことのできない「面・衣裳・蛇胴」に共通する、なくてはならない材料、それが石州半紙に代表される石見の和紙でした。この和紙なくして、石見神楽のものづくり産業は成立しえなかったのです。また、その技術は石見神楽にとどまらず中国地方の神楽に大きな衝撃と影響を与え、瞬く間に広まりました。



定期公演

石見神楽は毎週末各地で行われ、多くの公演で2演目程度観ることができます。
公演前に演目の解説をされることが多く、会場には演目紹介のパンフレットがありますので、
初めての方でもお楽しみいただけます。迫力ある石見神楽の舞をぜひ生で体験してみてください！

※価格は全て税込です。

津和野町
太皷谷稲成神社
［場所］鹿足郡津和野町後田409
［駐車場］有
日時 9月の毎週土曜日 20:00～21:10頃
※中止の場合あり
料金 500円（小学生以下無料）
［お問い合わせ］（一社）津和野町観光協会
TEL.0856-72-1771

津和野町
道の駅津和野温泉 なごみの里
［場所］鹿足郡津和野町鷲原イ256
［駐車場］有
日時 公演休止中（再開日未定） 料金 観覧無料
貸し出し用車椅子あり ※身体障がい者用のトイレは館内と館外に1カ所ずつあります。（外のトイレはオストメイトもあり）
［お問い合わせ］道の駅津和野温泉なごみの里 TEL.0856-72-4122

益田市
益田駅前ビルEAGA
［場所］益田市駅前町17-1
［駐車場］約200台
日時 毎週土曜日（4～8月、1～3月）・8/13（金） 19:30～21:00
※8/7・8/14は休演
料金 1,000円（中学生以上）、500円（小学生） ※未就学児無料
貸し出し用車椅子あり
※身体障がい者用のトイレは1階と3階に1カ所ずつあります。
［お問い合わせ］（一社）益田市観光協会 TEL.0856-22-7120

浜田市
いわみ文化振興センター
［場所］浜田市下府町303-3
［駐車場］約200台
日時 毎週日曜日11:00～14:00（予定）
※詳しくはホームページをご覧いただくか、お問い合わせください
料金 大人 2,000円、小中学生 1,000円 ※未就学児無料
［お問い合わせ］いわみ文化振興センター TEL.0855-25-5789
多目的トイレ、バリアフリー完備

浜田市
道の駅ゆうひパーク浜田
［場所］浜田市原井町1203-1
［駐車場］150台
日時 毎月第2日曜日 13:00～15:00
料金 観覧無料
貸し出し用車椅子あり ※身体障がい者用のトイレは会場の近くと外に1カ所ずつあります。（外のトイレはオストメイトもあり）
［お問い合わせ］道の駅ゆうひパーク浜田 TEL.0855-23-8000

浜田市
三宮神社
［場所］浜田市相生町1571
［駐車場］40台
日時 毎週土曜日 20:00～21:00 ※休演日あり
料金 1席 1,000円
［お問い合わせ］（一社）浜田市観光協会 TEL.0855-24-1085

浜田市
旭温泉あさひ荘
［場所］浜田市旭町木田954-3
［駐車場］9台
日時 9月～11月の毎週土曜日予定
※詳しくはお問い合わせください。
料金 500円（中学生以下無料）
［お問い合わせ］浜田市旭支所産業建設課 TEL.0855-45-1437

浜田市
アクアスはっしー広場
［場所］浜田市久代町1117-2
（しまね海洋館アクアス敷地内）
［駐車場］2,000台 ※しまね海洋館アクアス駐車場
日時 毎週日曜日・祝日（4～11月初旬） 13:00～15:00
料金 観覧無料 ※休演日あり
貸し出し用車椅子あり ※身体障がい者用のトイレは会場近く東側と西側に各1カ所ずつあります。
［お問い合わせ］島根県産産商事 TEL.0855-28-3388

江津市
石見神楽劇場 舞乃座
［場所］江津市後地町3348-113（神楽の里 舞乃市）
［駐車場］有
日時 毎月第1・3日曜日 16:00～18:00、毎月第2・4金曜日 20:00～21:00 主催集乃座実行委員会
料金 第1・3日曜日 1,500円、第2・4金曜日 1,000円
※未就学児無料 ※小学生以下保護者同伴
※料金等詳細については問合せ先にご確認ください。
［お問い合わせ］席の予約専用電話 TEL.090-8065-0002
※身体障がい者用のトイレは舞乃市内にあります。

江津市
有福温泉 湯の町神楽殿
［場所］江津市有福温泉町711-1
［駐車場］有
日時 2021年4月～12月 毎月第1・第3土曜日 20:30～21:30
（但し、7月と10月は、第2・第4土曜日）
2022年1月～3月 毎月第2土曜日 20:30～21:30 ※事前予約制
出演団体：有福温泉神楽団
料金 1席 1,000円、1席（小学生） 500円 ※未就学児無料
［お問い合わせ］江津市観光情報センター TEL.0855-52-0534

大田市
温泉津温泉 龍御前神社
（ゆのつ たつのごぜん）
［場所］大田市温泉津町温泉津口156
［駐車場］無 ※駐車場はゆうゆう館または総合保育園前か、フジパーキングと150m奥の空き地をご利用ください。駐車場が少ないため、ご宿泊をオススメします。
日時 毎週土曜日 20:00～21:00
料金 完全予約制、全席予約席 2,000円 ※変更の可能性あり
［お問い合わせ］温泉津温泉旅館組合（担当：金綱） TEL.0855-65-2998

江津市
江津駅前パレットごうつ
［場所］江津市江津町1518-1
［駐車場］有 ※駐車場はパレット専用駐車場または市民センター臨時駐車場をご利用ください。
日時 毎月第2日曜日 10:30～12:00
※但し、8月は第4日曜日、9月・1月は第3日曜日に開催。
※1月は子供神楽（無料公演） ※10-11月は休演 ※事前予約制
料金 1席 1,000円、1席（中学生以下） 500円 ※未就学児無料
［お問い合わせ］江津市観光情報センター TEL.0855-52-0534
※車椅子ご利用の方は、事前に問合せ先までご連絡ください。 ※身体障がい者用のトイレは各階に1カ所ずつあります。

石見神楽の演目紹介はこちら なつかしの国石見 検索

English https://www.all-iwami.com/en/kagura/
中文簡体 https://www.all-iwami.com/chi-s/kagura/
中文繁体 https://www.all-iwami.com/chi-o/kagura/
Francais https://www.all-iwami.com/fr/kagura/